

認知症ってなあに？



グループホームさくらがおか
長谷川 礼子

年をとるとのこと…

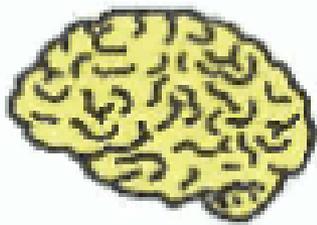


にんちしょう

認知症って何だろう？

さまざまな原因で脳のうの細ぼうが死んでしまったり、働きはたらが悪くなったりするために起こる脳のうの病気です。

物わすれがひどくなったり、できていたことができなくなり、今までのような生活がおくれなくなります。



健康な脳

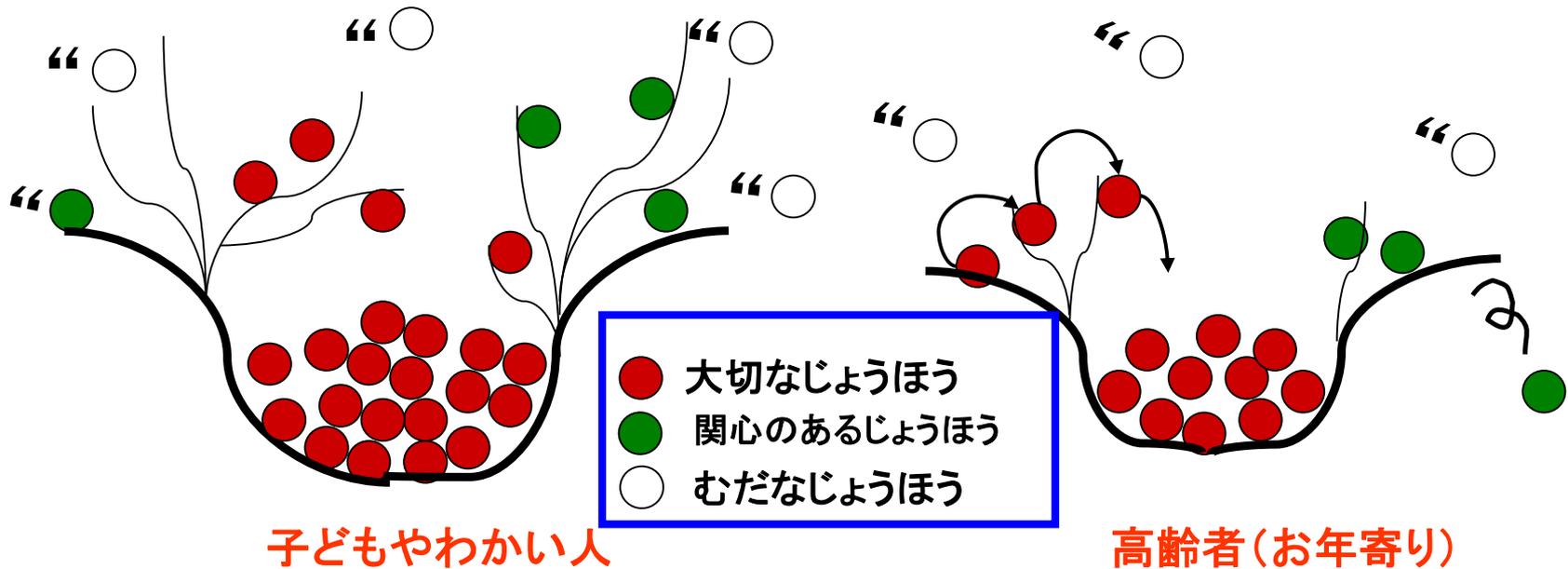


アルツハイマー病の脳
脳細ぼうが死んで
脳全体がちぢんでしまう



脳血管性認知症の脳
血管がつまって一部の
細ぼうが死んでしまう

覚えられない・忘れてしまう

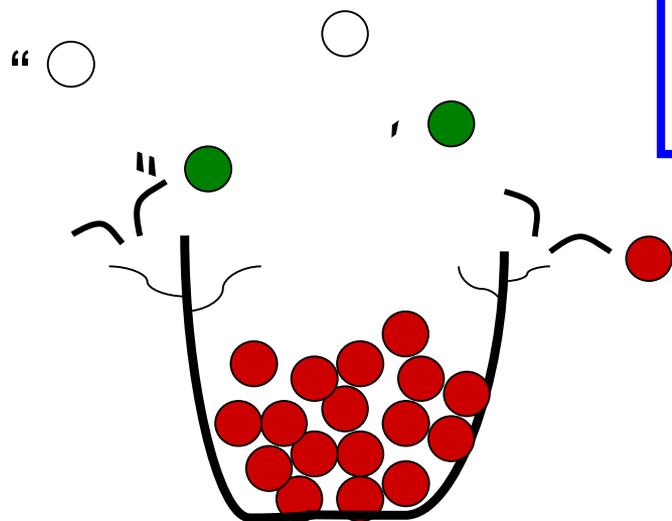


たくさんあるイソギンチャクの手はすばやく動いて、大切なじょうほうを「きおくのつぼ」に入れます。そして、必要な時に必要なじょうほうを「つぼ」中からすばやく取り出すことができます。

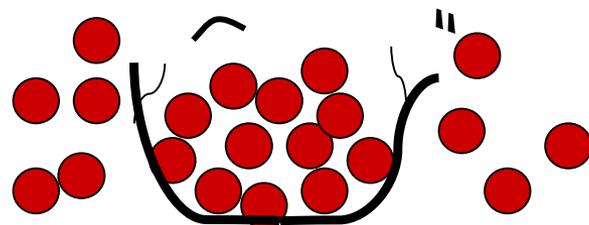
イソギンチャクの手のはたらきが弱くなって、大切なじょうほうを「きおくのつぼ」に入れるのも時間がかかります。何度かくりかえせば「きおくのつぼ」に入れることができます。

覚えられない・忘れてしまう

- 大切なじょうほう
- かんしんのあるじょうほう
- むだなじょうほう



にんちしょう
認知症の人



にんちしょう
認知症が進んだ人

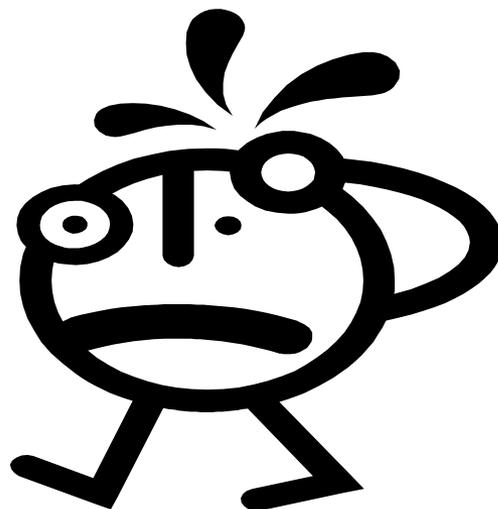
病気のために、イソギンチャクの手がほとんど動かなくなり、大切なことも「きおくのつぼ」に入れることができません。そのため、聞いたことも覚えておくことができません。

「きおくのつぼ」に入っていた覚えていた大切なことも「きおくのつぼ」から消えていってしまいます。

時間や月日、場所、人がわからなくなる

今が何日、ここはどこ、あなたはだれ

今が「いつ」で、自分が
「どこ」にいるか、目の前の人
が「だれ」かが、わからなくなり、
不安な気持ちに
なります。



ほかにもこんなことが起こります

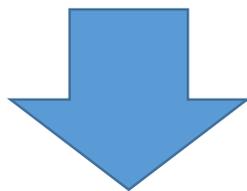
- 考えるスピードがおそくなる
- 新しい機械きかいが上手じょうずに使えなくなる
- 計画をたてられない、計画どおりにできなくなる



にんちしょう

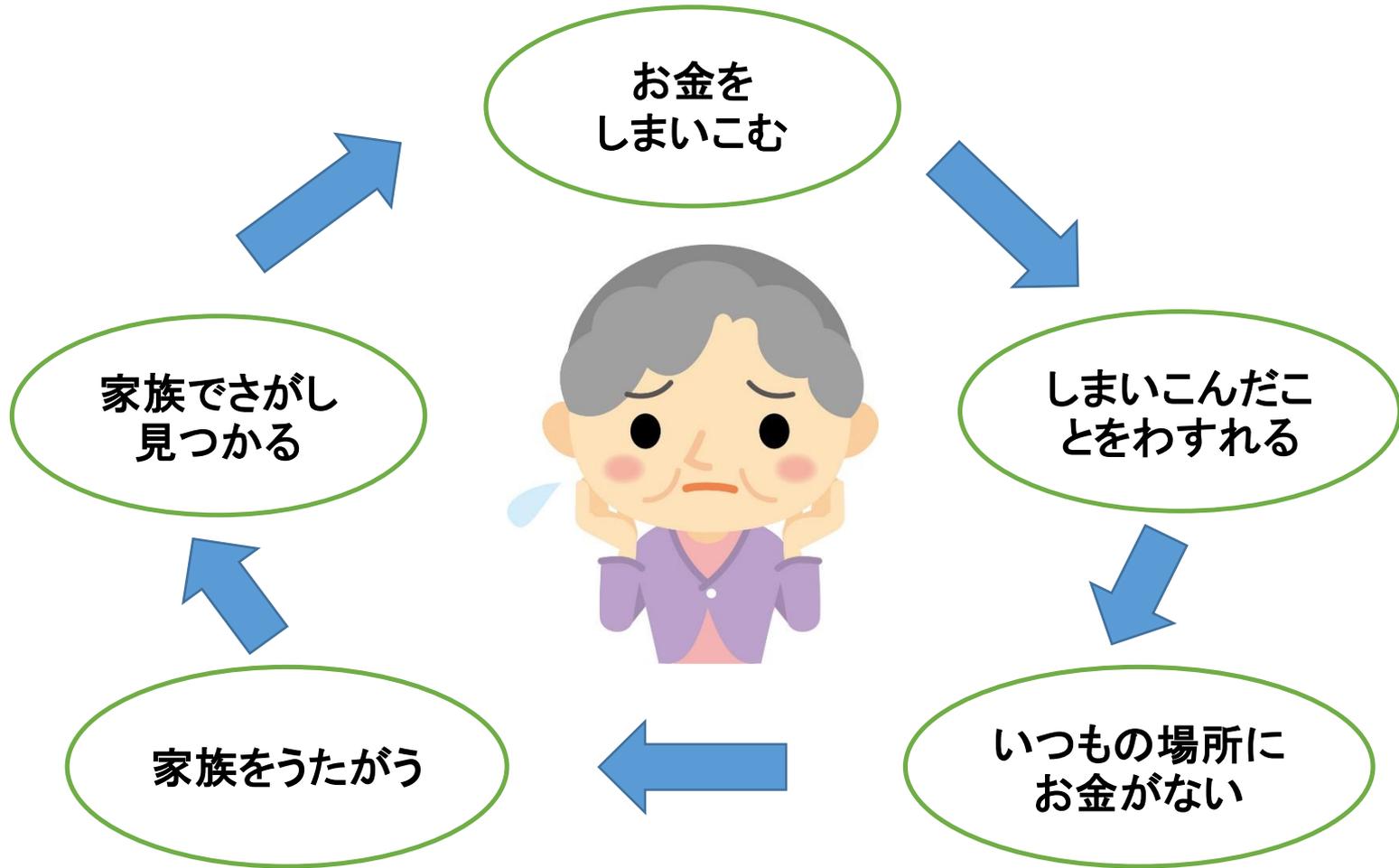
認知症になるとおこること

- ◆元気がなくなる
- ◆「ものをとられた」と思いこむ
- ◆道にまよって家にかえれない

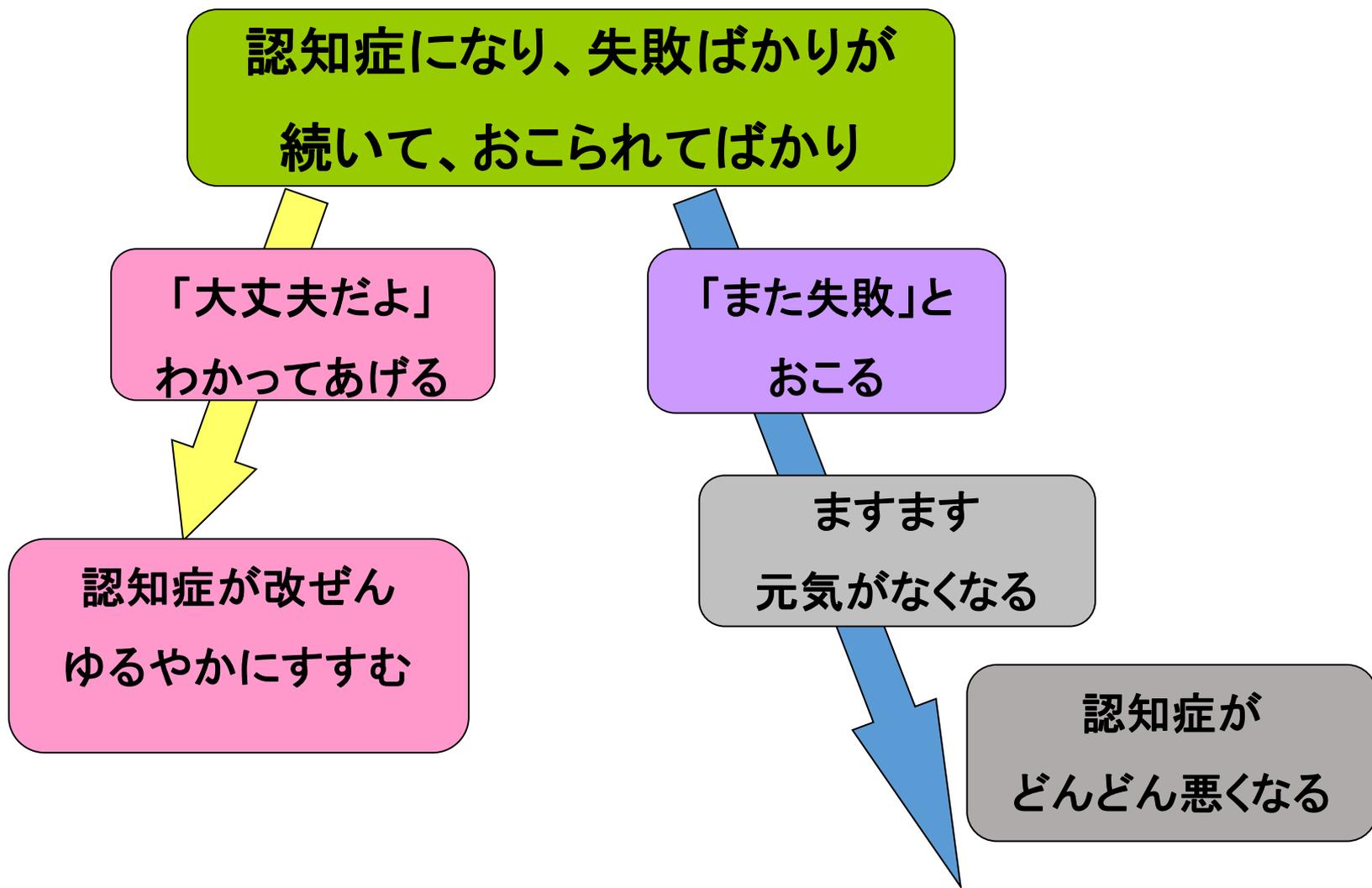


まわりの人の助けが
あれば不安がへります。

さいふ 財布をぬすまれたと思いこむ



にんちしょう 認知症の人に接するときには



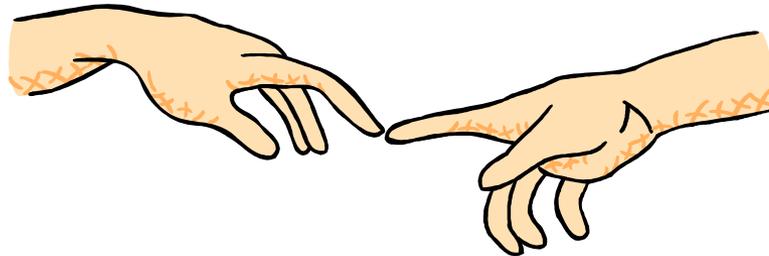
にんちしょう

みんなで認知症の人をささえよう

にんちしょう

認知症の人は、自分がおかしくなっている
ことを感じ、だれよりも苦しんだり、なやんだり、
悲しんだりしています。

だから、まわりの人が、^{にんちしょう}認知症の人の不安な
気持ちを感じとったり、何にこまってるかを見
てとり、助けてあげることが大切です。



にんちしょう

認知症の人への対応のポイント

きほんしせい

● 基本姿勢 ●

“3つの「ない」”

- 1 おどろかせない
- 2 急がせない
じそんしん
- 3 自尊心を
きずつけない

● 具体的な対応の7つのポイント ●

- 1 まずは見守る
- 2 余裕を持って対応する
よゆう
- 3 声をかけるときは1人で
- 4 後ろから声をかけない
- 5 相手に目線を合わせてやさしい
くちょう
口調で
- 6 おだやかに、はっきりした話し方で
- 7 相手のことばに耳をかたむけて
ゆっくり対応する

どんなお話をすると、仲良くなれるかな・・・
先ほどから話しているように物わすれをしま
すので、少し前に起きたことや、昨日のでき
ごとなどは、聞いても分かりません。
ところが、昔、自分が若かった頃のことは、
覚えていることがあります。

にんちしょう
認知症になっても、
昔の良い思い出、
忘れたくない思い出は
覚えているものなんです。



グループホームさくらがおかには
認知症にんちしょうの高齢者たかろうしや（お年寄り）が介護職員かいごしよくいんと

いっしょに穏やかおだに生活しています。

お掃除そうじをしたり、お料理りょうりを作ったり食べたり、お
買物に出かけたり、お風呂に入ったりと皆さんが
いつもしていることをしながら生活しています。

皆さんもやさしく
話しかけて下さい。



今日から皆さんも にんちしょう 認知症サポーター

にんちしょう りかい
認知症を理解して
応援してくれる人のこと

オレンジリングとカードを
利用しよう！！